

社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会
あいとぴあ子ども発達教室

“ ぱる ”

(指定事業所番号 1354500116)

支援プログラム

作成日:2024年12月1日



理念

楽しく

発達が遅くであったりアンバランスであったりする子どもたちに
楽しい遊びの場所を提供します。

ありのまま

子どもたちが安心してありのままの自分で過ごし
遊びの中で必要な力をつけていくことで
豊かなこころを持って暮らしていけるための基礎をつくれます。

保護者と共に

保護者にも参加していただき
子どものこれからのために何をしていたらよいかを共に考えます。
親子でほっとできる場所になることも大切にしています。

支援方針

基本的信頼関係 安心してひととかかわろうとする力

基本的生活習慣 身の回りのことを自分でやろうとする力

自己決定 自分で選び決める力

集中力の継続 物事に取り組み楽しむ力

の育ちを促します。

◆ 個別支援計画に基づく支援を行います

子どもの成長のために必要なことややるでできることを保護者と共に考え、ひとりひとりに個別支援計画（児童発達支援計画）を作成します。

◆ペアレント・トレーニングの考え方に基づく支援を行います

◆子どもと子どもを支える環境を支援し、“つながり”作りを目指します

本人支援 グループ療育を基本とし、必要に応じて個別療育・プール療育を一体的に提供します。

家族支援 子どもの発達についての理解を深め、ひとりひとりに必要な具体的ななかかわり方や環境調整を共に考えます。また、保護者同士の交流の場を提供します。

移行支援／地域支援・地域連携

地域の療育機関として、児童発達支援センター、幼稚園、保育園、学校、医療機関、その他の福祉サービス提供機関と連携し、地域での生活のしやすさを支援します。

対 象

児童発達支援の支給決定を受けた狛江市在住の未就学児

営業時間

原則として、月～金曜日（祝日及び事業所が指定した休業日を除く）
9：00～17：00

送 迎

なし



提供プログラム



個別 療育

言語療法
作業療法
理学療法

グループ 療育

親子同室
↓
親子別室



プール 療育

親子プログラム

支援内容（本人支援）

本人支援	領域	支援内容（ねらい）	ぱるのプログラム・主な行事
	健康・生活	食事（咀嚼、マナー、道具の使用）・排泄・清潔・着脱・支度・当番活動・生活リズムの確立・健康や睡眠状態の把握 OT、PT、STによる個別療育・プール療育	給食・歯磨き・トイレ・おむつ替え・衣服（自立、前後の確認、身だしなみ、お姉さん着替え）、靴、靴下の着脱・おしたく（コップ、タオル、水筒、シールはり）・手洗い、うがい・当番活動（名前呼び、名札配り、植木の水やり、水筒配り）・お片付け・身の回りの物の整理整頓 等
	運動・感覚	姿勢・移動・歩容・リラクゼーション・筋力・バランス・粗大運動・手先の操作・道具の使用・感覚（固有覚、前庭覚、触覚、視覚、聴覚） PT、OT、STによる個別療育・プール療育	リラクゼーション・どんぐり・ゆらゆらポート・ひこうき・とんぼのめがね・サーキット・手押し車・魔法のじゅうたん・シートブランコ・小麦粉粘土・片栗粉あそび・パネルシアター・製作（ハサミ、絵の具、のり、シール、クレヨン、素材に触れる）・ボールプール・新聞紙あそび・布あそび・音楽あそび（楽器、ゴーストストップ）・おままごと 等
	認知・行動	身体部位・色・大きさ・数・時間概念・形・空間・場面の切り替え・手順・行動や感情のコントロール・刺激に対する環境設定 ST、OT、PTによる個別療育	ゴーストストップ・ドレミでぎゅ・洗濯ばさみあそび・くだものあつめゲーム・パネルシアター（どんないろがすき、おみせやさん、ふしぎなポケット等）・ボールプール・色マット取りゲーム・パズル・マグネットタイル・ブロック・ふわふわマッチング 切り替え時の時間の予告・手順表や絵カードを使った視覚支援・パーティションやイヤーマフを使った感覚過敏への配慮、工夫、環境設定 等
	言語コミュニケーション	身振り・指差し・サイン・ジェスチャー・絵カードや写真カードによる発信・単語理解・指示理解・手遊び・歌・相手や友だちへの意識・文字の読み書き ST、OT、PTによる個別療育	名前呼び・おもちゃカードからの選択、発信・「もう一回！」のジェスチャー・ハイタッチ・お買い物ごっこ・あいとびあたんけん・収穫あそび・おにもつはこび・雪だるまづくり・玉入れゲーム・鈴の音リンリン・パネルシアター（おみせやさん）・誕生日会の質問コーナー・カレンダーづくり・塗り絵・線繋ぎ・クイズクイズ 等
	人間関係・社会性	愛着の形成・小集団での生活・ルールのある遊び・ソーシャルスキル・役割・達成感・あいさつ・言葉遣い・相互のコミュニケーション・行動や感情のコントロール ST・OT・PTによる個別療育	ガタゴトゆれる・マッサージ・「あるいてしゅっぱつだ」・名前呼び・貸し借り・ヘルプを出す・気持ちを伝える（代弁、表情カード、文字、ことば）・話す人/聞く人のコントロール・声や動きのコントロール・当番活動・二人組やチームでのあそび（かくれんぼ、マット取りゲーム、まほうのじゅうたん、なべなべ、玉入れ）・卒業式 等

支援内容（家族支援／地域支援・地域連携・移行支援／職員の質の向上）

	支援内容	ばるのプログラム・主な行事
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 心理職によるアセスメント 個別支援計画作成（面談、相談、助言、実施状況の把握【モニタリング】） プログラム内容についての意図、ねらいの共有、支援場面を通じた学びの機会の提供 子育ての（きょうだいとの関係も含む）困りごとに対する相談支援 保護者同士の交流の機会の提供 子どもの発達や特性の理解に向けた相談援助、ペアレントトレーニングの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個人面談（年2回） 心理相談 参観月間（年2回） ペアレントトレーニング（PMグループ） 保護者グループ（AMグループ、年3回程度） なつばる パパばる 先輩保護者の話 就学前ばる 卒業面談 個別療育（ST、OT、PT） <p>「親子でほっとできる場所」 そなばるを目指していきます</p>
移行支援 地域支援 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育園への訪問、連携、意見書作成、支援方法の共有 就学支援シートの作成 就学先の学校や、放課後等デイサービスとの会議、連携、支援方法の共有 相談支援事業所や児童発達支援センター、他の児童発達支援事業所との連携 あいとぴあセンター内の社協、健康推進課、子ども家庭課、障害福祉サービス事業所との連携、交流 子ども家庭センターや、児童相談所との連携 地域の公園を活用した小集団活動 福祉サービス事業所連絡会（子ども部会）、自立支援協議会（子ども専門部会）参加 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園/保育園訪問 就学支援シート作成 意見書作成 就学支援シートに基づく連携会議（学校主催） 先輩保護者の話 就学前ばる 卒業面談 遠足（年1回） 避難訓練（年2回） あいとぴあたんけん 公園あそび
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 専門職（心理職・言語聴覚士・作業療法士・理学療法士等）による発達支援に関する研修及び地域支援・地域連携・移行支援に関する研修 狛江市児童発達支援センター支援者向け研修・人事交流研修、その他外部研修への参加 虐待・身体拘束防止研修 感染症及び災害業務継続計画（BCP）研修 	